

▼企画展・イベントなど

- 7月16日(土)～9月4日(日) / 巡回展「拝啓 牧野富太郎さんへの手紙」
- 7月16日(土)～8月31日(水) / 牧野富太郎生誕160年記念スタンプラリー
- 7月16日(土)～8月31日(水) / 食虫植物展
- 7月23日(土)・31日(日) / オオオニバスにのろう!
- 8月13日(土)・14日(日) / 夜の植物園
- 9月9日(金)～11日(日) / 五台山 観月会

▼教室

- 7月9日(土) / 暮らしの植物教室
 - 7月17日(日) / ハエトリグサの栽培教室・見ごろの植物ガイドウォーク
 - 7月24日(日) / 夏休み子ども教室
 - 8月7日(日) / 夏休み子ども教室
 - 8月20日(土) / ハエトリグサの栽培教室
 - 8月21日(日) / 夏休み子ども教室・見ごろの植物ガイドウォーク
 - 9月4日(日) / ハーブの教室
 - 9月18日(日) / ふむふむ子ども教室・見ごろの植物ガイドウォーク
 - 毎月第2水曜日・第4日曜日 10:00～ / 草花を描く
 - 毎月第2水曜日・第4日曜日 13:30～ / ふれあい植物観察会
- ※7月第4日曜日は休止、8月は休止

【教室・イベントの申込方法】

当園ホームページのイベント・植物教室ページ、またはFaxからお申込みください。入園窓口でも直接お申込みいただけます。

- 申込先 ホームページwww.makino.or.jp Fax088-882-8635
- 申込開始日 開催前月の第1水曜日 9:00～(先着受付順)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今後、企画展・イベント・教室などの日程や内容が変更または中止になる場合があります。最新情報はホームページなどでお知らせしますのでご確認ください。

Information

牧野植物園からのお知らせ

牧野植物園オリジナルタンブラーが登場

牧野博士が大好きだった植物 バイカオウレンをあしらったタンブラーを片手に、牧野植物園を散策しませんか。

牧野博士の生誕160年を記念し、当園のオリジナルタンブラー「バイカオウレン」を制作しました。牧野オリジナルブレンドティーを

製造・販売するトトレ株式会社との共同開発で、プロダクトのデザインと機能性に定評のあるKINTOのタンブラー(350ml)を採用し、牧野博士の植物園をモチーフにしたデザインを施しました。

博士生誕日に発売するや人気商品に。園内のショップやオンラインショップでお取り扱いをしています。

(楠山壽香)



Shop information

ショップからのお知らせ

ボタニカルショップnonoca

牧野富太郎博士生誕160年を記念し、博士のサイン「くるくるまきの」と四季の植物などをモチーフにしたカラフルな和三盆が並びオリジナル商品が登場。プレゼントにおすすめです。



牧野植物園オリジナル和三盆 810円(税込)

観光バス「MY遊バス」のご案内

- JR高知駅から牧野植物園までMY遊バスで約30分。
- MY遊バス乗車券を牧野植物園の窓口提示で、入園料が100円引き。
- 料金 / [五台山一日券] (高知駅⇄五台山) 大人(中学生以上)600円 子ども(小学生)300円
- MY遊バスに関するお問い合わせ 運行について / とさでん交通(株) TEL 088-833-7171 乗車券について / (公財)高知県観光コンベンション協会 TEL 088-823-1434

高知県立牧野植物園ご利用案内

[開園時間] 9:00～17:00(最終入園16:30)

[休園日] 年末年始(12/27～1/1)

[メンテナンス休園日] 6/27、9/26、11/28、R5/1/30

[入園料] 一般730円(高校生以下無料)

団体630円(20名以上)、年間入園券2,930円

※身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料
お知らせ:5月16日(月)から最終入園時刻が16:30になりました。

【交通案内】

改修工事による駐車場大幅減のため植物園駐車場の混雑が予想されます。土日祝日などに運行する【高知新港臨時駐車場+シャトルバス(30分毎運行)】の利用にご協力をお願いいたします。詳細情報▶
はりまや橋から車で約20分。

高知自動車道「高知IC」から一般道で約20分。

高知自動車道「高知JCT」経由、東部自動車道「高知南IC」から約15分。

高知龍馬空港から東部自動車道経由で約25分。

※道路案内板の「五台山」または「牧野植物園」「竹林寺」を目標指してお越しください。

高知県立牧野植物園 友の会 会員募集

[特典] ※会員ご本人様のみの特典です。

①窓口で会員カードを提示していただくと、入園料無料。

②「牧野植物園だより」(年4回発行)や、催し物案内を定期郵送します。

③牧野植物園が主催するイベントや教室に会員価格で参加できます。

④レストラン、ショップ利用時にカード提示で、5%の割引が受けられます。

(カフェでは適用されません。書籍・植物・酒類は割引対象外となります。)

[会費] 普通会員 / 年額 4,000円 賛助会員 / 年額10,000円

[入会のお申し込み・お問い合わせ] 088-882-2601 友の会担当まで



牧野植物園ロゴマーク:バイカオウレンの葉

バイカオウレンは、早春に小さな白い花を咲かせます。高知では春一番を告げる花として、牧野富太郎博士が特に好んだといわれています。晩年東京で暮らした牧野博士にとって故郷を思わせる懐かしい植物でした。

高知県立牧野植物園だより No.90 令和4(2022)年6月27日発行

[編集・発行] 公益財団法人 高知県牧野記念財団

〒781-8125 高知市五台山4200-6 高知県立牧野植物園

Tel 088-882-2601 Fax 088-882-8635

[印刷] 有限会社 西村騰写堂

www.makino.or.jp



高知県立 牧野植物園だより



ヨコグラノキ [クロウメモドキ科]

Berchemiella berchemiifolia
(Makino) Nakai

本州・四国・九州、朝鮮半島、中国に分布する落葉小高木で、山地の林内や岩礫地、石灰岩地に生育する。樹皮は灰黒色で縦の溝が不規則に走る。5～6月に黄色の小さな花をつけ、果実ははじめ黄色で熟すと暗赤色になる。牧野博士が高知県横倉山で発見し、明治28(1895)年に和名をつけ、明治31(1898)年に新種として正式に発表した。

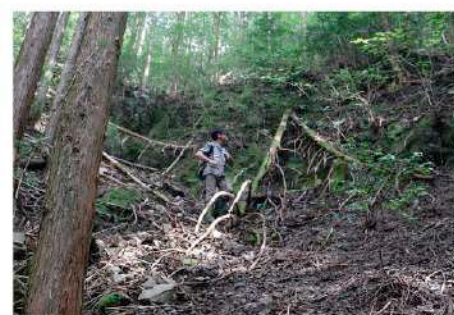
News レッドデータブック発行

高知県レッドデータブック
2022植物編

高知県レッドデータブック 植物編発行

平成12(2000)年以来22年ぶりの改訂

レッドデータブックは、絶滅の恐れのある生きもののリストである「レッドリスト」に挙げられた生きものについて、各種が置かれた状況を詳しくまとめた本です。高知県では平成12年にはじめてレッドデータブックが発行されて以降、平成22(2010)年、令和2



レッドデータブック編纂のための植物調査の様子

(2020)年にレッドリストが改訂されてきました。そして今年3月、令和2年に発表されたレッドリストにもとづき、「高知県レッドデータブック2022植物編」が発行されました。

平成29(2017)年に調査がはじまり、2年半のうち集まった情報はのべ4,000件を超え、それらをもとに1種ずつ絶滅の恐れが評価されました。その結果、ニホンジカの増加により生態系のバランスが崩れ、ふつうに見られた植物が今では探さないと見つけられなくなり、水田や家のそばなど人里に当たり前にあった里地里山の植物が、都市への人口流出で絶滅危惧種になっていることがわかりました。

レッドデータブックは生きものを保護するための基礎的な資料です。これをもとに、生きものをどのように守っていくかが考えていくことが大切です。高知県の自然の状況を知っていただき、ふるさとの植物を守るため、広く県民に活用していただけることを願っています。

(前田綾子)



Information 駐車場改修工事

高知新港の
臨時駐車場のようす

駐車場の改修工事スタート 令和4(2022)年冬に完成予定

工事期間中は土日祝日など無料シャトルバス運行

今年6月から、かねてより課題となっていた駐車場不足を解消するため、当園の第1駐車場の改修工事がはじまりました。現在の駐車スペースの利用の仕方を全面的に見直し、効率的な土地利用をすることで駐車台数を増加させる計画です。この改修工事により、改修前の駐車台数183台(普通車)から、225台となり、42台分のスペースが増える予定です。今後とも少しでも来園される方にご不便がないよう、工夫を重ねていきたいと思っています。



当園正門前に到着したシャトルバスを利用する来園者

改修工事期間中は工事作業により駐車スペースが減る時期が発生するため、3月19日(土)から12月25日(日)までの間、土日祝日やイベント開催日には、高知新港に臨時駐車場を構え、無料のシャトルバスを運行することとしました。シャトルバスを利用された方からは「渋滞の心配もなく、スムーズに来園できた」「山道を自分で運転するより安心できた」などのお声をいただいています。

来年春放送予定の連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の制作決定が発表された後、3月の来園者数は前年対比31%増となり、早くも県内外から注目が集まっている状況です。工事によりご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただき、当園にお越しの際は、ぜひ駐車場の状況を気にすることのないシャトルバスの利用をご検討ください。

(楠瀬佐波)



News 受賞報告

祝!日本植物園協会 木村賞を受賞

～植物園協会第57回大会で表彰～

令和4(2022)年5月17日(火)、当園アドバイザー稲垣典年氏は、日本植物園協会植物園表彰の中で最高栄誉とされる木村賞を受賞しました。稲垣氏は、昭和45(1970)年に当園に職員として入社以来、今日に至るまで約52年間の長期にわたって園地の造園、整備などの管理業務のみならず、貴重な自生植物の生態維持、西日本の代表的な植物の収集に積極的に取り組ん



親しみやすい語り口が魅力「ふれあい植物観察会」の様子

でできた。特筆すべき功績は、植物をはじめ、植物分類学者牧野富太郎博士、当園の

愛好家を飛躍的に増やしたことです。植物および牧野博士への愛に溢れた親しみやすい解説は、多くの植物愛好家の方々の心を引きつけ、植物園の生き字引、カリスマ的存在となっています。さらに県内各地において「牧野富太郎の道を歩く」などの企画指導、三原村のヒメノボタン復元などの指導により、牧野博士の顕彰に寄与するとともに、地域創生の一端を担う活動を継続してきました。

このように稲垣氏は、総合型植物園としての当園の発展に園地整備、新たな植栽方法の開発さらには教育普及活動、園内解説、地域活動および環境保全の分野でも多大な貢献を果たしてきました。その功績は素晴らしいものであり、「レジェンド」稲垣氏の受賞は、当園にとっても大変誇らしく、うれしいニュースとなりました。

(川原信夫)



表彰状を手にする稲垣氏と記念撮影

日本植物園協会第57回大会(岐阜)

Info 津野町「遊山四万十せいらんの里」に
広場が完成

令和3(2021)年7月に津野町の観光拠点の一つとして、船戸地区に宿泊施設「遊山四万十せいらんの里」がオープンしました。当園は津野町と連携協定を締結しており、令和2(2020)年6月から広場の整備計画にアドバイザーとして携わってきました。「津野町の魅力を発信し、交流・体験・癒しの拠点となる広場」をコンセプトとして全体イメージ図などを提案し、工事の進捗にあわせて植栽や修景などの助言を行い、今年2月に広場が完成しました。

4月9日(土)には、この広場の完成を祝ってお披露目イベント「船戸イベント広場植栽体験」が開催されました。はじめに当園から広場のコンセプトをわかりやすく説明し、津野町で観察されるヤマブキやミツマタなどの植物を参加者と一緒に広場に植樹しました。広場の愛称は、町民の投票により「船戸らんまん広場」となりました。

今回植樹した植物が大きく成長し、時間の経過とともにさらに魅力が高まっていくことを期待しつつ、これからも津野町や地区住民の方々と協力しながら「広場の成長」をサポートしていきます。

(白土晃一)



参加者と一緒に津野町でみられる植物を植樹

Report 夢来里の風まつりへブースを出展

当園は、共同研究をしている小林製菓株式会社とともに、東豊永集落活動センターと協定を結び休耕田を活用した薬用植物の試験栽培を東豊永地区ではじめています。今回、地域の方々へ我々の活動を知っていただきたいという思いから、「夢来里の風まつり」へ参加してきました。

大豊町の山間にある「夢来里」は、大阪から帰郷した都築夫妻が耕作放棄地を開拓してつくった庭園です。開拓をはじめて10年の節目を記念し、4月29日(金・祝)と30日(土)の2日間開催されました。

ブースでは、トトレ株式会社の協力のもと、牧野オリジナルブレンドティーの試飲や、薬用植物の試験栽培および牧野博士生誕160年を記念する当園のイベントを紹介しました。試験栽培品目のトウキの葉やミソハギ、ダイダイを使ったブレンドティー3種類の試飲は大変好評で、皆さんそれぞれ違う味を楽しんでいました。また連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の制作が決定したことを受け、多くの方から喜びの声がきかれ、牧野博士への関心の高さを改めて実感することができました。



展示ブースでブレンドティーをふるまいながら地域の方と交流

News

牧野博士のヒメアジサイ
牧野記念庭園に約半世紀ぶりに里帰り

5月14日(土)、当園が半世紀以上にわたって系統保存してきた「牧野博士のヒメアジサイ」が、生前の自宅があった練馬区立牧野記念庭園に記念植樹されました。

ヒメアジサイは、昭和4(1929)年に牧野博士が『植物研究雑誌』において学名と和名を発表した植物で、庭に植えて愛でていたといえます。博士の没後、次女の鶴代さんから当園の第5代山脇哲臣園長がこの穂木を譲り受け、以降「牧野博士のヒメアジサイ」として、歴代の職員により大切に受け継がれてきました。牧野記念庭園では数十年前からヒメアジサイの姿が見られなくなっており、当園において継承されてきた口伝を裏付ける資料が見つかったのを機に、今回の記念植樹が行われることとなりました。「曾祖父が愛したヒメアジサイが長い時間を経て里

帰りを果たして、感無量です。」…牧野博士の曾孫4人に見守られ、ヒメアジサイは輝いて見えました。

(藤井聖子)



植樹式に招かれた
牧野博士の曾孫の皆さんと

Info

連続テレビ小説を生かした
博覧会に向けて

令和5(2023)年春、連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の放送に向けて、高知県では、県下全域で草花を中心にした催しなどを開催する博覧会準備委員会が始動し、4月に市町村はじめ観光・交通関係者を中心とした全体会議が開催されました。当園からは園長が委員として参加し、「この機会に皆さまと一致団結し、多くのお客さまにご来園いただくと同時に、高知県の魅力もあわせて知っていただきたい」と話しました。当園は、佐川町(牧野公園など)、越知町(横倉山自然の森博物館)とともに、博覧会の拠点となる案が打ち出され、今後、各施設とのより一層の連携強化、牧野富太郎博士の魅力の発信を通じて、多様な人々が集う交流の場としても機能することが期待されています。

当園では、4月から園長をリーダーに、専門員1名と各課から一名ずつ任命された推進員で構成する牧野富太郎プロジェクトチームを立ち上げ、職員一丸となり、牧野博士を全国に向けて発信するための体制を構築しています。(小松加枝)



5月26日(木)に設立した博覧会推進協議会の総会の様子

Report

牧野富太郎生誕160年をお祝い
メモリアルイヤーがスタート!

4月24日(日)は牧野富太郎博士の誕生日!当園では恒例の無料開園「マキノの日」を開催しました。当日は雨模様となったものの朝から多くの方が来園し、新緑の園地を散策しながら思い思いに楽しむ姿が見られました。同日に開幕した特別企画展「牧野富太郎展～博士の横顔～」ではオープニングセレモニーを開催。限定160名の来園者にオリジナルブレンドティー「スエゴザサ」やスイーツをふるまい、展示関係者あいさつの後は、特大プレゼントBOXを開封して牧野博士160回目の誕生日をお祝いしました。



特大プレゼントBOXの開封で牧野博士生誕160年をお祝い

またこの日、博士の故郷・佐川町では、昨年募集した手紙コンテスト「拝啓 牧野富太郎さんへ」の表彰式が行われ、全国から集まった310通から選ばれた12作品の展示がスタートしました。この展示は「拝啓 牧野富太郎さんへの手紙」と題し、博士ゆかりの地をめぐる巡回展として、当園では7月16日(土)～9月4日(日)に開催します。

(片山百合子)

Info

フェリシモとコラボ
牧野博士の植物図が洋服に

ファッションや雑貨の大手通信販売会社株式会社フェリシモ(以下、フェリシモ)の大人の女性向けファッションカタログIEDIT(イディット)とのコラボ商品ができました。植物の情報のかぎりを1つの画面に集約する牧野博士の植物図は、植物研究の資料であることは当然ながら、アートとしての魅力も兼ね備えています。今回、植物図を厳選し、コウシンソウとヤマザクラのTシャツ、ヤブツバキのセットアップができました。2種類のTシャツは、実際の植物図の色合いをできるだけ忠実に再現しており、セットアップは繊細で美しい植物図の世界観を洋服に閉じ込めたいという熱意のもと、博士の生誕160年にふさわしい商品になるよう植物図を絵柄にするという大胆な挑戦をしました。



©フェリシモ

商品は2022初夏号のカタログにはじめて掲載され、合計50～59万部発行のカタログやwebサイトで掲載されました。商品を通して、当園や牧野博士の業績を多くの方に広報する機会となりました。(楠山壽香)

第1回目 牧野文庫資料より

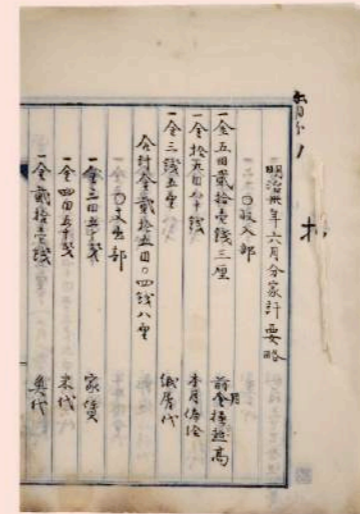
文庫資料が語る牧野富太郎博士の姿

特別企画展「牧野富太郎展～博士の横顔～」展示資料から



牧野博士は自身の生涯、人生について『牧野富太郎自叙伝』に述べています。また数々の伝記も出版され、博士を知るうえでこれらは欠かせないものです。こうした書物からの情報以外に、牧野文庫に収蔵する博士の研究ノートや採集記録、日記、手紙などの遺品資料からは、自叙伝や伝記と違った博士の姿が浮かびあがってきます。生誕160年事業として開催した特別企画展「牧野富太郎展」では、遺品資料を紐解き、これまで知られていなかった博士の横顔を紹介しました。今回は本展でご紹介した資料から、博士の姿を見てみましょう。

自叙伝には「私の月給は却々上げてもらえなかった」とあります。どのくらいの給料だったのでしょうか。明治26(1893)年、帝国大学理科大学の助手に採用された当時の博士の給料は15円でした。博士が記した家計簿を見ると、明治29(1896)年8月の給料は17円80銭で、明治30(1897)年6月は19円80銭です。明治27(1894)年の大学卒の国家公務員の初任給が50円だったころ、少しずつ上がってはいたものの博士の給料はほかと比べ、決して高くないことがわかります。またこの家計簿からは牧野家の暮らしぶりも見えてきます。明治30(1897)年6月の収入は、前月の繰越と給料などの合計25円4銭8厘となっています。支出は20円33銭9厘で、4円70銭9厘を繰越しています。支出の中身には家賃3円50銭、食費6円87銭、光熱費1円75銭、菓子62銭、新聞76銭、子守2円70銭などがあります。「左の手では貧乏と戦い右の手では学問と戦いました」と自叙伝で語る博士ですが、明治30年の牧野家は子守を雇い、翌月に繰越ができるほど生活に少しは余裕があったようです。



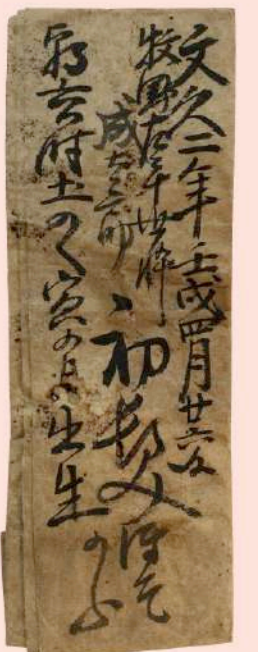
明治三十年六月分 家計要略

博士宛ての書簡に書かれた住所を調査していくと、博士の住所変遷が見えてきます。自叙伝によると、博士は妻の壽衛と根岸で所帯を持ったとあります。その根岸から終の棲家となった大泉まで、今回の調査では少なくとも25回の引っ越しをしたことが確認できました。また自叙伝には「標品を蔵うに少なくとも八畳

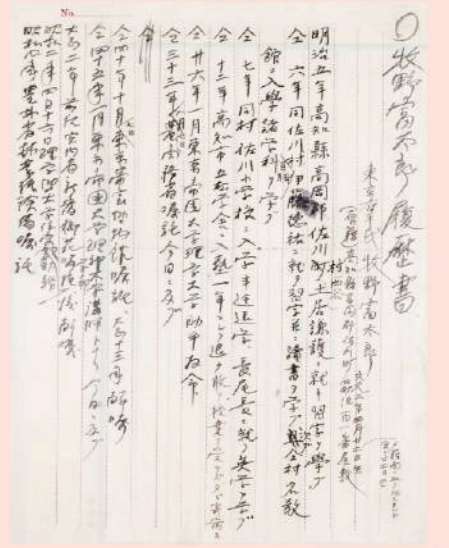
二間が必要とされているので、却々適当な家が見付らず」とあります。明治30年に博士は現東京都文京区小石川に住んでいました。明治32(1899)年の現東京都板橋区中宿における一戸建て家賃が75銭ということを押さえると、家賃3円50銭の家は相当高額であったことがうかがえます。この家賃が支払えなくなり、のちに引っ越しを余儀なくされたことは想像に難くないことでしょう。

最大の謎は、博士の生誕日です。自叙伝では生誕日を4月24日としています。しかし、博士のへその緒と初髪のパッケージには「文久二年壬戌四月廿六日 牧野佐平世倅成太郎」と書きつけがあり、成太郎とは、博士の幼名です。また博士自筆の履歴書の下書きには「文久二年四月廿二日生」と書いた横に「戸籍面ニ此ク記シアレド実ハ廿四日也」と添え書きがあります。博士によると、生誕日は戸籍上は22日で実際は24日ということになり、履歴書では26日について博士は全く触れていませんが、東京の谷中にある博士の墓石に刻まれている生誕日は4月26日です。博士の生誕日は、4月22日、24日、26日の3つが確認できました。自叙伝や博士自身が4月24日を生誕日としていることから、当園では4月24日を生誕日としています。

牧野文庫資料からはこのほかにも、つぎつぎと新事実が見つかっています。博士の言葉にある「綿密に見れば見るほど新事実」まさにこの言葉の通り、今回はいろいろな博士の姿が見えてきました。(村上有美)



博士のへその緒と
初髪のパッケージ



自筆の履歴書

見ごろの
花だよりVol.41
Flowers in season

ザーバオバブ

[パンヤ科]

Adansonia za

「バオバブ(アダンソニア・ディギタタ)」といえば、幹が太く上下を逆転したような奇妙な樹形で知られています。直径25mを超えることもある太い幹の中に大量の水を貯えることができ、厳しい乾季に備えています。アフリカでは、「創世の時に上下をさかさまにして植えた木」という言い伝えがあります。また、「星の王子さま」など数々の物語に登場することでも有名です。

バオバブの仲間は、自生地で繊維質の樹皮は屋根や壁などの材やロープ、硬い果皮は容器、白い仮種皮は酸味と甘味があり食用、種子からは油など、用途の広い植物でもあります。

この属は世界に8種存在しますが、そのうちマダガスカル島には7種が自生します。本種はマダガスカル島の内陸から南部にかけて分布し、高さ30mに達し、中には樹齢1000年を超えるものがあります。自生地では雨季(11~2月)に甘い香りの花を咲かせます。当園では平成13(2001)年に苗を導入しました。平成29(2017)年より開花がはじまり、昨年も7月下旬~8月中旬にかけて20個以上開花しました。花の直径は20cm程でとても大きいのですが、樹上に咲くため肉眼では見えにくいので、開花したら株の近くに解説パネルと花の液浸標本(アルコール漬け)、双眼鏡を設置する予定です。樹上に咲く珍しい花を、ぜひ観察してみてください。(濱田妙子)



ザーバオバブの花

植物の
「なぜ?」Vol.41
Plants' Q and A

Q | 風や動物を利用する以外に
種子を拡散する方法はありますか?

A | 自分で種子を飛ばす方法があります。

植物が種子を拡散する方法には大きく分けて3つあります。1、風や水に運んでもらう。2、虫などの動物に運んでもらう。3、自分で飛ばす。「自分で飛ばすってどういうこと?」と不思議に思うかもしれませんが、果実の中の空気の高圧を高くすることで弾き飛ばしたり、果皮が炸裂することで種子を飛ばすのです。ゲンノショウコをはじめとするフウソウの仲間が種子を飛ばす仕組みはさながら投石器です。「ためてためてピヨーン」です。ゲンノショウコは筒状の果実(蒴果)をつくり、種子が成熟するにつれてがく片が反り、種子の入った果実の根元部分が大きくなります。種子がじゅうぶん成熟し、果皮が黒くなると炸裂して上に巻き上がります。その巻き上がる力を利用して種子は袋から飛び出します。わずか1.5cmほどの果実ですが、なんと1~2mも種を飛ばすことができます。種子が入った部分は軸を囲むように5つあり、5方向に飛ばすことができます。湿度が低くなり、果皮が乾燥することで、種子が入った部分が中心軸から外れます。種子が遠くに飛ぶ環境条件がそろうタイミ

ングで種子を飛ばしているのです。種子を飛ばした後の果皮が巻き上がったようすはちょうど神輿の屋根に似ているのでゲンノショウコは別名ミコシグサとよばれています。ミコシグサをかたちづくる果皮をよく見ると一つ一つがぜんまいに似ていることに気づきませんか?

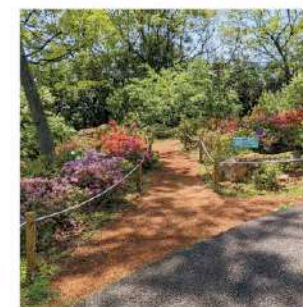
果皮が巻き上がる力(弾性)を利用した投石器い「投種子器」。人類が投石器を発明する以前から植物は投石器の原理を種子の拡散つまり子孫繁栄に利用しているのです。あっぱれ植物!

(松野倫代)



ゲンノショウコ炸裂した果実

園地のできごと

Vol.41
The gardening
section's newsこんこん山広場に
観察路が登場!

「台湾ツツジ属植物エリア」の観察路

平成31(2019)年春にオープンしたこんこん山広場の入口付近に広がる「草原エリア」と、丘上の「台湾ツツジ属植物エリア」に新しく観察路を整備しました。これらのエリアでは、来園者が実際に植栽の中を歩くことをイメージして植物を配置しており、約3年が経過して小さかった苗も順調に成長して開花に至る株も増えてきたため、この春に整備を行いました。

これらの観察路は既存の地形を活かし、「草原エリア」の路面には芝生、「台湾ツツジ属植物エリア」にはヤシ殻チップを用いたことで周囲の景観に溶け込み、やさしい踏み心地となりました。新しい観察路からは四国の草原のハンカイソウや高山の林床のベニバナヤマシャクヤク、台湾の山地のタイワンシャクナゲなどの植物を間近で観察することができます。

これからも徐々に植栽を増やしていき、理想とする風景に近づけていきたいと思います。ぜひこんこん山広場の観察路を散策してみてください。

(白土晃一)

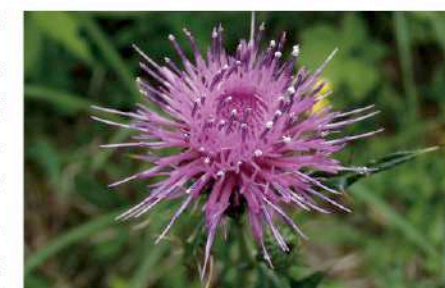
身近な植物を
知るVol.44
Plants close to us

ノアザミ

[キク科]

Cirsium japonicum Fisch. ex DC.

ノアザミは、春から夏にかけて野原や河原の土手など日当たりの良い草地で、鮮やかな赤紫色の花を咲かせます。一つの花のようにみえる玉状の花は、小さい花の集まりです。小さい花が集まると、ボリュームがでて虫から見つけやすくなり、一度に複数の花が受粉できるなどの利点があります。ノアザミは、一つの花に雄しべも雌しべもある両性株と雌花だけの雌株の2タイプがあります。両性花の場合、開花中に雄しべと雌しべの成熟する時期をずらして、雄花の時期から雌花の時期へと移行しており、これは自家受粉による近交弱勢*を避けるためといわれています。さらに、雄花の時期のはじめに雄しべに刺激が加わると、雄しべが集まってできた筒が下がって先から花粉が押し出される仕組みになっています。わずかですが雌花だけの株は高知県でも見つかっています。皆さんも身近なノアザミの花を観察してみましょう。(橋本季正)



花粉が出て離しへの先端が開いている、雄花時期

*近交弱勢: 近親交配することで潜在していた有害な表現形質が現れ、集団中に適応度の低い個体が増えること。過度に進むと絶滅する恐れがある。

Staff's recommendation

スタッフに聞く!
植物園の見どころ Vol.44会計課 窓口
野島千尋のおすすめ

癒しの南園

草花と鳥と虫が織りなす南園では、ピンクから緑、赤へと移り変わる四季を楽しめ、この大自然の空気を吸い込むとパワーをもらえます。

さまざまな花が咲き誇る春、'仙台屋'が散りゆくころツツジの仲間が鮮やかさを取り戻します。牧野博士の銅像に向かう曲水の庭では、初夏にはイロハモミジの美しい新緑と秋には博士を誘うかのようにコバノフジバカマをめぐって海を渡る蝶アサギマダラが遊びに来ます。この曲水の庭の新緑のトンネルをくぐって、また梅雨には可愛いナツツバキを横目に、牧野博士に「こんにちば」。太陽をいっぱい浴びて咲くハマボウを見上げながらトントンと階段を駆け上がっていきとき、夏の到来を感じてワクワクします。

連絡道沿いのサギのコロニーの展望台で深呼吸をすると、それまでの疲れが癒され、リフレッシュできます。ここから一望する五台山の街並みには、今は亡き大好きな祖母を思い出します。

皆さんも四季折々の園内で自分だけのとっておきの時間、植物に出会ってみませんか。

